

吉田正義・廿日出正美（1981）の報文には本種が出てこない。これは静岡県下には本種がいないからであろう（1984年の黒沢良彦・渡辺泰明両氏の野外ハンドブック 12, 甲虫によると最近芝についてきたのか千葉県ゴルフ場で本種が発生して話題になったとあり、この様に運ばれて分布を広げる恐れはある。千葉県の記録はその後山崎秀雄氏が市川市をされている。月刊むし, №187, p.38, 1986）。たゞその中で解説されているウスチャコガネ *Phyllopertha diversa* Waterhouse の状況と良く似ている。ウスチャコガネはこの時期はもっと平地即ち播磨平野部あたりではいくらかでも見られるが六甲山頂では本種は見られなかった。交尾状態のものは観察出来なかったが恐らくこの時期に交尾をするのであろう。それと採集している時間帯が午前8～9時の間である。細辻・吉田氏も芝生でマメコガネの群飛のピークは午前8～9時と報じておられる。コガネムシ類に芝生での群飛のピーク時間帯が同じ様な状況下で見られると云うことがあるのだろうか。

ゴルフ場で作業している人に聞いて見るとコガネムシは年によって多い少いがあるが結構たくさんいますよとのことであった。本種のみならず他のコガネムシもいるように思われる。何か対策をたてているのだろうか。

とに角六甲山のゴルフ場にはいくらかでもいるのに兵庫県の他の地ではほとんど採集出来ない。ゴルフ場の数では全国で1, 2を争う位の兵庫県である。他のゴルフ場あたり芝草を害するコガネムシがもっといそうに思うがどんなものであろうか。 (AUG. 1986)

ヒメコブヤハズカミキリ神戸市北区山田町にて採集 (兵庫県甲虫相資料・177)

高橋 寿郎

六甲山系のヒメコブヤハズカミキリ *Parechthistatus gibber* (Bates, 1873) は筆者残念ながらこの所20年以上採集していない(摩耶山では33年間も未採集である)。記録の方もそれ程多く見られない。いるのはいるはずであるが狙って採集出来ていない。出会いのチャンスが極めて少い種のようなのである。

1986年6月4日久方振りに神戸市内で本種を採集したので報告しておきたい。採集した場所は神戸電鉄谷上駅から谷山川にそって殿ノ手池に到る舗装道路上を午前8時頃歩いていた1♂である(右触角の9節から先欠如)。六甲山系とは云えないが所謂丹生山系金剛童子山の麓にあたる場所でこのあたりの地域からの記録としては勿論始めてのものである。 (AUG. 1986)